

第72回全国植樹祭滋賀県実行委員会第3回総会 議事概要

■日 時：令和元年7月30日（火）13:30～15:00

■場 所：滋賀県庁東館7階大会議室（大津市京町四丁目1番1号）

■出席者：別紙出席者名簿のとおり

■議事内容

1 あいさつ

三日月会長（滋賀県知事）より、開会あいさつ

2 報告事項

（1）令和元年度の取組状況について【資料1】

事務局より、【資料1】令和元年度の取組状況について説明

＜質疑等＞：なし

（2）企業等協賛の募集について【資料2】

事務局より、【資料2】企業等協賛の募集について説明

＜質疑等＞：なし

（3）会長専決処分について【資料3-1, 3-2】

事務局より、【資料3-1, 3-2】会長専決処分について説明

＜質疑等＞：なし

3 審議事項

〔第1号議案〕大会テーマ・シンボルマーク(案)等について【資料4】

事務局より、【資料4】大会テーマ・シンボルマーク(案)等について説明

＜質疑等＞：なし

→ 原案どおり承認

※承認後、事務局より、大会テーマおよびシンボルマークを使用した大会ロゴマークを公表

〔第2号議案〕平成30年度事業報告(案)について【資料5】

〔第3号議案〕平成30年度収支決算(案)について【資料6】

事務局より、【資料5】平成30年度事業報告(案)、【資料6】平成30年度収支決算(案)について、一括して説明

監事より、平成30年度収支決算にかかる監査結果について報告

＜質疑等＞：なし

→ 両議案とも、原案どおり承認

〔第4号議案〕令和元年度収支予算(案)について【資料7】

事務局より、【資料7】令和元年度収支予算(案)について説明

＜質疑等＞：なし

→ 原案どおり承認

〔第5号議案〕専門委員会への付託事項(案)について【資料8】

事務局より、【資料8】専門委員会への付託事項(案)について説明

＜質疑等＞：なし

→ 原案どおり承認

4 検討事項

第72回全国植樹祭基本計画（中間案）について【資料9、資料9別冊】

事務局より、【資料9、資料9別冊】第72回全国植樹祭基本計画（中間案）について説明
＜質疑等＞

委員： 開催理念においても「やまの健康」につながる本県らしい取組を進めていくという姿勢が出されており、また、今回、大会テーマを「木を植えよう びわ湖も緑のしずくから」とされたように、山や森林の大切さをこの植樹祭を通じて県民等に知っていただくという大会趣旨であろうかと思う。知事は「びわこ令和の森づくり」などの施策も進められているが、今、造林公社等が管理している山もちょうど伐採期に入ってきており、方向性としては伐採後に植栽をしないとも聞いている。広葉樹であろうと針葉樹であろうと、いわゆる琵琶湖の緑という観点から、奥山の森林保全ということも考えていただきたいと思う。「やまの健康」という観点からの森林施策をどのように考えているのか。

事務局： 森林の保全についてどのように考えているのかということについてお答えする。今回、取組をお示した「びわこ令和の森づくり」というのは、伐って、また植えるという再造林の方向のものであり、もう一方の造林公社をはじめとする条件不利地における森林整備と、この2つの視点に分けて考えている。森林の公益的機能を十分に発揮させていくということと、林業としての成長産業化や資源の循環利用などの観点での再造林ということの2つの視点。具体的に申し上げると、比較的近いところ、採算の取れるところでは、今後も資源を循環させていくという観点で、伐ったらまた植えるという再造林を進めているところ。一方、奥地における条件不利地においては、できるだけ人手がかからずとも森林の機能を発揮させていけるような針広混交林あるいは天然林に、伐採した後に自然な形で戻していこうと考えている。これは、今回の全国植樹祭においても、このような理念の中で進めていくこととしており、さらに令和3年度からの「琵琶湖森林づくり基本計画」を作り直す際にも、そういった考え方を反映させていきたいと考えている。

5 その他

(1) 甲賀市の取組について【資料10】

岩永副会長（甲賀市長）より、【資料8】今後の予定について説明
＜質疑等＞：なし

(2) 今後の予定について【資料11】

事務局より、【資料11】今後の予定について説明
＜質疑等＞：なし

※会議終了後、会長および副会長による「大会ロゴマーク」のお披露目（記者向け写真撮影）